



開物成務

令和8年4月17日(金)発行

校長 大越 泰子

進入学おめでとうございます

例年より早く咲き始めた桜でしたが、新年度の始まりを待っていたかのように、美しく子どもたちを迎えてくれました。

今年度は68名の1年生が入学しました。今年の入学式は1年生と6年生だけが参加し、2～5年生は教室で3時間授業を行いました。学年始まりの黄金の3日間を大切にしたいという思いからです。少ない職員での進行となりましたが、6年生が1年生のサポートをしてくれて、落ち着いた良い式となりました。1年生の手を引いて入場した6年生は、ペアの子に声をかけたり、離れるときにハイタッチをしたりして温かな交流の様子がかがえました。最上級生としての初仕事でしたが、状況に合わせて、今何をすべきか考えて行動している姿に大きな成長を感じました。

始まりの4月、学校全体が新しいスタートにワクワクしているようです。子どもたちのそんな思いを大切にしていきたいと思えます。

1年生と6年生の交流



朝、1年生の昇降口では、6年生のお兄さんお姉さんが出迎えてくれます。入学式の翌日の朝、お母さんと離れがたく、涙を流していた女の子も、6年生が手をつないでくれたら、お母さんに手を振って教室へと入っていきました。中休みにも遊びにきてくれたり、給食の配膳のサポートをしてくれたりと、様々なところで交流が行われています。次第に顔見知りが増え、緊張が解けて学校生活を楽しんでいる様子が見られるようになっていきます。



学校だより「開物成務」は開成町の名前の由来になっている中国の「易経」の中の言葉です。「物を開き務めを成す」と訓読します。

人々の知識を開いて世の中の事業を成就させるという願いが込められています。地域で大切に受け継がれている言葉や願いを受け継ぎ子どもたちの育成に努めます。

個人情報の取扱いについて

学校では、様々な個人情報を取り扱います。また学校だよりや学級通信でもお客様の写真やお名前等を掲載する場合があります。個人の特定やデータの転用などがなないように、個人情報の取扱いには十分注意を払って行います。学校だよりは保護者の方々へマチコミで配付するとともに、教育委員会のHPにも掲載されます。写真掲載不可の申し出をいただいている方については、十分注意いたします。

図書室が変わりました

開成小学校の図書室にすてきな畳スペースができました。寝転がって本を読んだり、丸くなって読み聞かせをしたり、カルタをしたりと図書室の活用の幅が広がります。子どもたちにとって、本に親しむ場所としてはもちろん、憩いの場となることを願っています。

